

令和2年度 第1回

認知症支援・介護予防・活躍推進に関する会議

資料 5

5 議事（4）意見交換（課題の共有と取組みへの提案など）

## 当会議における協議事項

できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者が主役になれるまちづくりを目指して、高齢者の活躍推進、主体的な健康づくり・介護予防の促進や、総合的な認知症対策の推進に向けた課題の共有と課題解決に向けた具体的取り組みについて協議するもの。

### 1 高齢者の生きがい・社会参加など活躍の推進

高齢者自身が持つ豊かな知識や経験を個人にとどめず、ボランティアや就労をはじめとする様々な地域活動、社会活動への参加を推進することで、本人の生きがいづくり、地域社会での担い手づくりにつなげていく仕組みを検討。

＜具体例＞

- (1) 各種講座のプログラムに、「地域貢献活動」を組み入れ、学んだ成果を着実に行動につながるための仕組みづくり
- (2) 各種ボランティア活動を希望する人とのマッチングを行う仕組みづくり
- (3) 出来る範囲で社会貢献したいと思っている高齢者への情報やきっかけの提供
- (4) 就労に関する情報提供、更なる気運の醸成 など

### 2 主体的な健康づくり・介護予防の促進

市民が主体的・継続的に健康づくり・介護予防に取り組めるよう、地域の取り組みに対する支援体制や、状態像に応じた適切なサービス提供の構築等について協議する。

＜具体的例＞

- (1) 地域住民の健康づくり・介護予防活動への参画を促す方策
- (2) 教室終了者が地域の自主活動や社会資源活用へとつながる方策（介護予防に取り組むリーダーの活躍など）
- (3) 「通いの場」の情報共有や、専門職の介入（運動・栄養・口腔の一体的な提供）による生活機能維持の効果的な取り組み など

### 3 総合的な認知症対策の推進

これまで実施してきた認知症への理解を深めるための普及・啓発の更なる展開や、地域の見守り活動の充実、適時・適切な医療介護の体制構築、若年性認知症対策など具体的な取り組みに加え認知症施策推進大綱で示された施策の検討。

＜具体例＞

- (1) 学生や企業などへの認知症サポーター養成講座の周知（令和2年度末：目標10万人）
- (2) 様々な地域での搜索模擬訓練の実施や認知症カフェの展開
- (3) 認知症疾患医療センターや初期集中支援チームの機能を活かした医療介護の連携
- (4) 若年性認知症の方の就労や生活を支える仕組み など